

短期研修報告書

記入 | 2018年 10月

所属&学年 | 経済学部 2年生

留学先大学 (国名)	フライブルク大学(ドイツ)
短期研修のプログラム名	SLI International Summer Courses
留学した期間	2018年9月3日~2018年9月28日

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

留学に興味があったが海外に行ったことが無く、長期の留学は不安だったので1ヶ月という適度な期間、そして第二外国語としてドイツ語をとっていたため、ドイツに興味があったことからこのフライブルク大学の短期研修に参加することを決めた。すべて自分で申し込まなくてはならず不安だったが、手続きは簡単だった。

語学対策は旅行のためのドイツ語の本などを見て簡単な単語、使えそうなフレーズを確認する程度しか時間が無くてできなかった。ただ空港から大学までの乗り換えやチケットの買い方などは調べて、プリントして持って行った。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

ドイツ語のコースを選択したが、比較的日本人が多い印象だった。A1.1のクラスだったため、授業のドイツ語の文法レベルは大学で習った範囲で簡単だった。しかし、英語での説明やドイツ語での指示など文法以外のことは理解するのが大変でクラスとしてのレベルは適切だった。クラスは15人で日本人5人と日本人の割合が大きかった。留学生同士では英語で交流したが、自分の英語は拙くなかなか伝わらなかった。国によって英語の話し方に癖があり、聞き取れないこともあった。

午後や休日にはアクティビティが用意されていて、他の留学生とも交流ができた。ただ、全体的にアクティビティ参加者は日本人が多かった。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

寮は建物によって優劣が分かれていた。私の寮は扉の建て付けが悪く簡単に鍵を開けることができず、慣れるまでに時間がかかった。最初トイレやシャワールームの扉も鍵が簡単に開かず、半分閉じ込められた状況になり焦った。扉を開けるコツさえ掴めば部屋は広く、快適だった。ただキッチンルームは8人で共用だったため、夜遅くまでキッチンルームでたまって、歌ったりゲームをしたり騒いでいたのでうるさかった。

食事は寮の近くのスーパーで簡単なものを買うか、外食だった。全体的に量は多いが、おいしかった。また、9月だからそこまで寒くならないだろうと思っていたが、後半は朝の気温が3℃となった日もあり朝と夜は寒かった。薄いパーカーを1枚しか持って行かず、現地で厚手の服を購入したので上着をもう少し持って行くべきだった。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

常はリュックサックで行動していたが、貴重品だけはウエストポーチに入れて肌身離さず持っていた。電車などの移動中、寝ないように心がけた。

5. 留学を終えて感じる事&留学を考えている学生へのメッセージ

海外に留学するという事はハードルの高いことのように感じていたが、やる気と時間とお金さえあればできてしまうと感じた。海外に行ってみて日本の良さを改めて感じたが、海外の自由な雰囲気から日本の堅苦しさも感じた。

1ヶ月という短い期間だったがこの短期研修を通じて得たものは多く、これからの生活に活かしていきたい。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	22万円	
海外旅行保険	1万円	
授業料(教材費含)	14万円	授業料、寮費込み
滞在費(寮費など)	円	
食費	円	
交通費	円	
その他(小遣い、通信費など)	15万円	
計	約 52万円	

自由記述欄 *現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓

フライブルクはフランスやスイスと近いので、週末に隣の県に行く感覚で気軽に隣の国に行くことができる。

フライブルクのミュンスターの下では朝市が開かれているので、授業前に朝市に行って買い物できる。



↑週末のアクティビティで訪れたアルザス地方

←朝市で食べた Bratwurst